2016年度 第１四半期 決算概要

（平成28年度）　　（4-6月期）

２０１６年7月２８日

四国電力株式会社

目次

Ⅰ．2016年度 第１四半期　連結決算の概要
（平成28年度）　（4-6月期）

1．電力需要　1
2．電力供給　2
3．収支概要　3
4．セグメント情報　6
5．財政状態　7

Ⅱ．2016年度　業績予想
（平成28年度）

8

【参考】2016年度 第１四半期 単独決算の概要

1．収支明細　9
2．財政状態　10

2016年度 第１四半期 決算　補足データ
（平成28年度）　（4-6月期）

- 大口電力販売実績の推移　11
- 電化住宅採用戸数の推移　12
- 化石燃料の消費実績　13
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額等　14
- 燃料費調整制度による期ずれ影響　15
- 設備投資額（連結）　16
- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度　17

参考情報

- 自社発電設備　19
- 伊方発電所３号機の新規制基準への適合性に係る審査等の進捗状況　20
- 伊方発電所３号機の使用前検査の進捗状況　21
- 伊方発電所の中長期的な安全対策［特定重大事故等対処施設・非常用ガスタービン発電機］　22
- 伊方発電所安全対策費の見通し　24
- 伊方発電所1号機の廃止　25
- 火力発電所のリプレース　26
- 石炭調達新会社の設立　27
- 環境規制の強化への対応　28
- 市場戦略の方向性　29
- 新料金メニューの導入［四国域内・四国域外(首都圏および関西圏)］　30
- 会員制Webサービス「よんでんコンシェルジュ」の内容拡充　32
- スマートメーターの導入計画　33
- 海外事業への取り組みスタンス　34
- 株主還元　35
- 財務実績［財務状況・キャッシュ･フロー・設備投資］　36

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

Ⅰ．2016年度　第1四半期　連結決算の概要

（平成28年度）　（4-6月期）

1．電力需要
2．電力供給
3．収支概要
4．セグメント情報
5．財政状態

Ⅰ－1．電力需要

電力需要の内訳

(百万kWh)

	2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年差	伸び率	主な差異理由
電灯電力計	5,938	6,082	▲ 144	▲ 2.4%	・省エネ機器の普及による影響　▲1億kWh程度
電灯	1,941	1,983	▲ 42	▲ 2.2%	
電力	3,997	4,099	▲ 102	▲ 2.5%	
（うち大口電力）	(1,849)	(1,907)	(▲ 58)	(▲ 3.0%)	
融通等	364	170	194	114.1%	
総販売電力量	6,302	6,252	50	0.8%	

※ 決算日において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

四国4県都の平均気温

(℃)

	3月	4月	5月	6月	3-6月平均
実績	10.9	16.5	20.6	23.2	17.8
平年差	1.2	1.6	1.3	0.4	1.1
前年差	0.8	0.4	▲0.1	0.9	0.5

大口電力の業種別需要動向

	対前年同期比 伸び率
繊維	▲19.6%
紙・パルプ	▲16.0%
化学	0.9%
鉄鋼	5.4%
機械	0.8%
その他	▲ 0.3%
合計	▲ 3.0%

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

Ⅰ－2．電力供給

発受電電力量の内訳

(百万kWh)

		2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年差	伸び率	備考
水力		1,191	985	206	21.0%	・出水率　105.7% → 119.5%
原子力		－	－	－	－	・伊方発電所の全号機が停止
火力	石炭	60% 2,962	50% 2,553	10% 409	16.0%	・橘湾発電所　前年度定期検査実施に伴う反動増
火力	LNG	10% 479	12% 617	▲ 2% ▲ 138	▲ 22.4%	
火力	石油ほか	30% 1,489	38% 1,996	▲ 8% ▲ 507	▲ 25.4%	
火力	計	100% 4,930	100% 5,166	▲ 236	▲ 4.6%	
新エネ		742	570	172	30.2%	

(百万kWh)

	2016年度 第1四半期		前年差
	電力量	構成比	
自社火力	3,507	71%	150
他社火力	1,423	29%	▲ 386
合計	4,930	100%	▲ 236

※上段□内は火力発受電電力量の構成比。
※決算日において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

Ⅰ－3．収支概要：前年対比

○　売上高は、電灯電力需要の減や燃料価格の低下に伴う燃調収入の減少により、料金収入が減少したことなどから、前年同期に比べ 24億円減収の 1,511億円となりました。

○　営業費用は、燃料価格の低下等により需給関連費(燃料費＋購入電力料)は減少したものの、退職給付に係る数理計算上の差異の償却や修繕費が増加したことなどから、前年同期に比べ 108億円増加の 1,595億円となりました。

○　この結果、営業損益は、132億円悪化の 84億円の損失、経常損益は、135億円悪化の 92億円の損失、また、親会社株主に帰属する純損益は、107億円悪化の 84億円の損失となりました。

(億円)

	2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年差	伸び率
売上高	1,511	1,535	▲ 24	▲ 1.6%
営業費用	1,595	1,487	108	7.3%
営業損益	▲ 84	48	▲ 132	－
支払利息ほか	8	4	4	113.3%
経常損益	▲ 92	43	▲ 135	－
渇水準備金引当	3	1	2	94.3%
法人税ほか	▲ 12	18	▲ 30	－
親会社株主に帰属する純損益	▲ 84	23	▲ 107	－

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

【収支明細：前年対比】

(億円)

			2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	比較 前年差	比較 伸び率
売上高	電気事業	電灯電力収入	1,075	1,153	▲ 78	▲ 6.8%
		融通等収入	30	20	10	44.4%
		その他収入	240	184	56	30.0%
		計	1,345	1,358	▲ 13	▲ 1.0%
	その他事業		165	176	▲ 11	▲ 6.2%
	合計		1,511	1,535	▲ 24	▲ 1.6%
営業費用	電気事業	人件費	186	126	60	47.2%
		燃料費	169	294	▲ 125	▲ 42.5%
		購入電力料	394	372	22	5.8%
		減価償却費	142	133	9	6.7%
		修繕費	146	89	57	64.5%
		原子力ﾊﾞｯｸｴﾝﾄﾞ費用	13	15	▲ 2	▲ 12.3%
		その他費用	394	297	97	32.3%
		計	1,447	1,330	117	8.8%
	その他事業		147	156	▲ 9	▲ 5.7%
	合計		1,595	1,487	108	7.3%
営業損益			▲ 84	48	▲ 132	-
	支払利息ほか		8	4	4	113.3%
経常損益			▲ 92	43	▲ 135	-
	渇水準備金引当		3	1	2	94.3%
	法人税ほか		▲ 12	18	▲ 30	-
親会社株主に帰属する純損益			▲ 84	23	▲ 107	-

(差異理由：億円)

【電灯電力収入】
・燃調収入の減（▲86）
・需要の減（▲28）
・再エネ買取制度に基づく賦課金の増（＋36）

【その他収入】
・再エネ買取制度に基づく費用負担調整機関からの交付金の増（＋55） 他

【その他事業】
・LNG販売事業の販売価格低下などに伴う減（▲8） 他

【人件費】
・退職給付に係る数理計算上の差異の償却増（＋49） 他

【需給関連費（燃料費＋購入電力料）】▲104
・火力単価の低下（▲140）
［うち燃料価格の低下 ▲120、石炭比率の上昇 ▲20］
・水力の増（▲15）
・総販売電力量の増（＋3）
・新エネ購入電力量の増（＋45） 他

		2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年差
全日本CIF	石炭（$/t）	69	82	▲ 13
	原油（$/b）	41	60	▲ 19
	LNG($/t)	312	480	▲ 168
為替レート（円/$）		108	121	▲ 13

【減価償却費】
・坂出2号機試運転償却費計上による増（＋8） 他

【修繕費】
・火力関係工事の増（＋35）
・原子力関係工事の増（＋14） 他

【その他費用】
・再エネ買取制度に基づく費用負担調整機関への納付金の増（＋36）
・電力システム改革関連費用の増（＋20）
・スマートメーター関連費用の増（＋15） 他

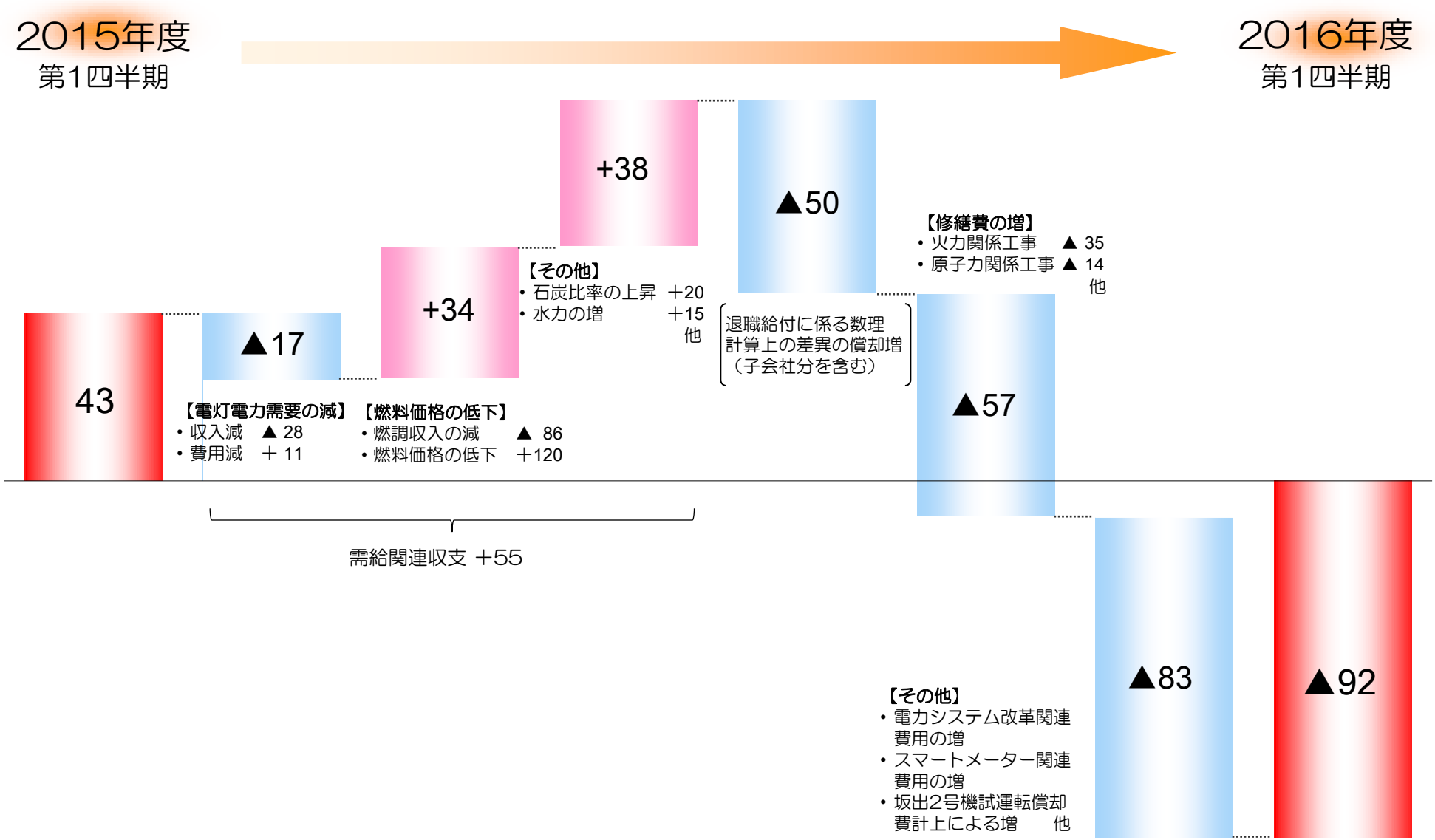
【その他事業】
・LNG販売事業の購入価格低下などに伴う減（▲7） 他

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

【経常損益(連結) 前年との差異内訳】

経常損益

（単位：億円）



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

Ⅰ－4．セグメント情報

【収支】

○　電気事業は、退職給付に係る数理計算上の差異の償却や修繕費が増加したことなどから、営業損益は131億円悪化の 105億円の損失となりました。

○　情報通信事業は、FTTH事業の売上増などから６億円の増収となった一方で、これに係る販売促進費の増加などから、営業利益は1億円減益の 7億円となりました。

○　その他事業は、建設・エンジニアリング事業の売上増などから８億円の増収、営業利益は 2億円増益の15億円となりました。

(億円)

			2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年差
連　結		売上高	1,511	1,535	▲ 24
		営業損益	▲ 84	48	▲ 132
セグメント（内部取引消去前）	電気事業	売上高	1,349	1,362	▲ 13
		営業損益	▲ 105	26	▲ 131
	情報通信事業	売上高	82	76	6
		営業利益	7	8	▲ 1
	その他事業	売上高	263	255	8
		営業利益	15	13	2

＜参考＞設備投資額　(億円)

	2016年度 第1四半期
電気事業	150
（うち伊方発電所にかかる安全対策工事）	(24)
（うち坂出２号機リプレース）	(40)
情報通信事業	7
（うちFTTH事業）	(2)
その他事業	4
合　計	162

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

Ⅰ－5. 財政状態

(億円)

	2016年度 第1四半期末	2015年度末	増　減	主な増減理由
資　　産	13,834	14,017	▲ 183	
（うち事業用資産）	(8,390)	(8,415)	(▲ 25)	・設備投資　＋151 ・減価償却など　▲176
（うち手元資金）	(101)	(374)	(▲ 273)	
（うち売掛金）	(679)	(619)	(60)	
負　　債	11,109	11,155	▲ 46	
（うち社債・借入金）	(7,329)	(7,197)	(132)	・コマーシャル・ペーパーの増　＋140　他
（うち未払費用）	(235)	(371)	(▲ 136)	
純資産	2,725	2,861	▲ 136	
（うち利益剰余金）	(1,276)	(1,401)	(▲ 125)	・純損失　▲84 ・配当金の支払い　▲41

自己資本比率	19.7%	20.4%	▲0.7%

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

Ⅱ．2016年度　業績予想
(平成28年度)

○　売上高予想については、本年４月に公表した数値から変更ありません。

○　損益予想については、現在、伊方発電所３号機が使用前検査を受検中であることから、未定としています。今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

○　なお、退職給付債務の算定に用いる割引率の低下等に伴い、2015年度に数理計算上の差異が 178億円発生しました。このうち、166億円を 2016年度に費用計上する予定です。
（第１四半期は、166億円のうち1／4を費用計上済み）

売上高予想

(億円)

	2016年度予想 (平成28年度)	2015年度実績 (平成27年度)	前年差	伸び率
連　結　売　上　高	6,500	6,540	▲ 40	▲ 0.6%

電力需要予想

(億kWh)

		2016度予想 (平成28年度)	2015年度実績 (平成27年度)	前年差	伸び率
電力需要	電　　灯	89.2	89.3	▲ 0.1	▲ 0.1%
	電　　力	167.6	168.2	▲ 0.6	▲ 0.3%
	電灯電力計	256.8	257.5	▲ 0.7	▲ 0.3%
	融　通　等	12.3	17.7	▲ 5.4	▲ 30.7%
	総販売電力量	269.1	275.2	▲ 6.1	▲ 2.2%

燃料諸元

	2016年度予想 (平成28年度)	2015年度実績 (平成27年度)	前年差
石炭ＣＩＦ価格（$/t）	70	75	▲ 5
原油ＣＩＦ価格（$/b）	45	49	▲ 4
為替レート（円/$）	110	120	▲ 10

【参考】単独決算の概要

1．収支明細

【単独】

(億円)

		2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	比較 前年差	比較 伸び率
売上高	電灯電力収入	1,075	1,153	▲ 78	▲ 6.8%
	(うち再エネ賦課金)	(105)	(69)	(36)	(51.2%)
	融通等収入	30	20	10	44.4%
	その他収入	269	222	47	21.3%
	(うち再エネ交付金)	(217)	(162)	(55)	(33.8%)
	合計	1,375	1,396	▲ 21	▲ 1.5%
営業費用	人件費	187	127	60	47.2%
	燃料費	169	294	▲ 125	▲ 42.5%
	購入電力料	394	372	22	5.8%
	減価償却費	143	135	8	6.5%
	修繕費	148	89	59	64.6%
	原子力ﾊﾞｯｸｴﾝﾄﾞ費用	13	15	▲ 2	▲ 12.3%
	その他費用	416	325	91	28.1%
	合計	1,474	1,361	113	8.3%
営業損益		▲ 98	35	▲ 133	-
	支払利息ほか	▲ 20	▲ 14	▲ 6	37.4%
経常損益		▲ 78	49	▲ 127	-
	渇水準備金引当	3	1	2	94.3%
	法人税等	▲ 17	13	▲ 30	-
純損益		▲ 64	34	▲ 98	-

(差異理由：億円)

【電灯電力収入】
・燃調収入の減（▲86）
・需要の減（▲28） 他

【人件費】
・退職給付に係る数理計算上の差異の償却額（＋49） 他

【需給関連費（燃料費＋購入電力料）】▲104
・火力単価の低下（▲140）
［うち燃料価格の低下 ▲120、石炭比率の上昇 ▲20］
・水力の増（▲15）
・総販売電力量の増（＋3）
・新エネ購入電力量の増（＋45） 他

		2016年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年差
全日本 CIF	石炭（$/t）	69	82	▲ 13
	原油（$/b）	41	60	▲ 19
	LNG($/t)	312	480	▲ 168
為替レート（円/$）		108	121	▲ 13

【減価償却費】
・坂出2号機試運転償却費計上による増（＋8） 他

【修繕費】
・火力関係工事の増（＋35）
・原子力関係工事の増（＋14） 他

【その他費用】
・再エネ買取制度に基づく費用負担調整機関への納付金の増（＋36）
・電力システム改革関連費用の増（＋20）
・スマートメーター関連費用の増（＋15）

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

2. 財政状態

【単独】

(億円)

	2016年度 第1四半期末	2015年度末	増　減	主な増減理由
資　産	13,357	13,486	▲ 129	
（うち事業用資産）	(7,747)	(7,756)	(▲　9)	・設備投資　＋143 ・減価償却など　▲152
（うち手元資金）	(　78)	(　360)	(▲ 282)	
（うち売掛金）	(　629)	(　554)	(　75)	
負　債	10,774	10,763	11	
（うち社債・借入金）	(7,281)	(7,149)	(　132)	・コマーシャル・ペーパーの増　＋140　他
（うち未払費用）	(　204)	(　321)	(▲ 117)	
純資産	2,582	2,723	▲ 141	
（うち利益剰余金）	(1,056)	(1,162)	(▲ 106)	・純損失　▲64 ・配当金の支払い　▲41

自己資本比率	19.3%	20.2%	▲ 0.9%

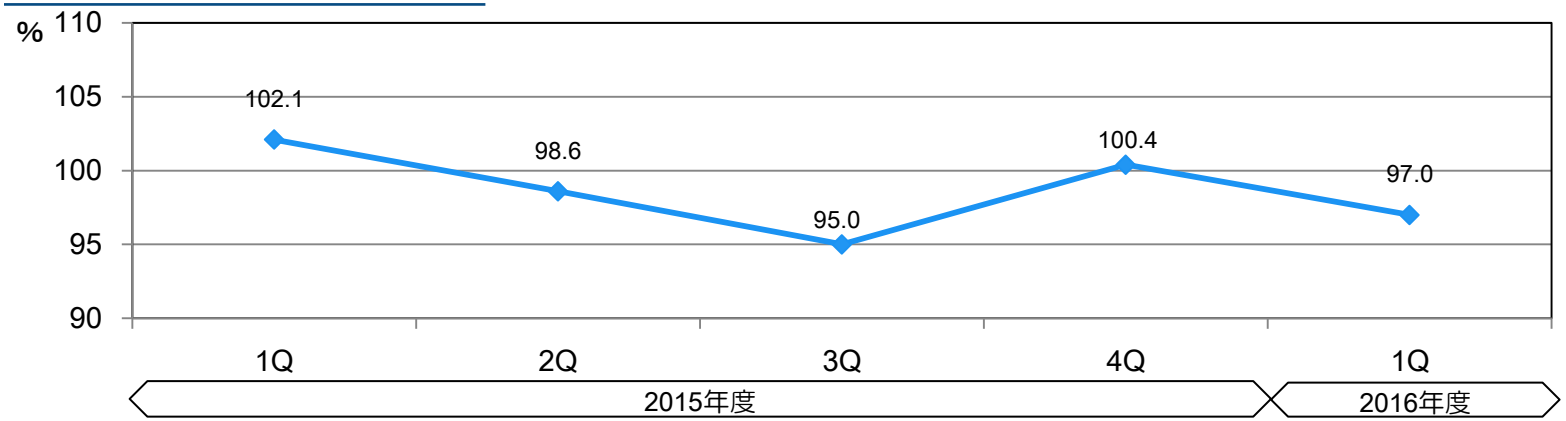
All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

補足データ

- 大口電力販売実績の推移
- 電化住宅採用戸数の推移
- 化石燃料の消費実績
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額等
- 燃料費調整制度による期ずれ影響
- 設備投資額（連結）
- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度

大口電力販売実績の推移

対前年同期比　推移



業種別　対前年同期比　伸び率

		2015年度					2016年度
		1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	年度計	1Q (4-6月)
大口電力		2.1	▲ 1.4	▲ 5.0	0.4	▲ 1.0	▲ 3.0
	繊維	24.4	34.3	13.2	0.0	17.3	▲ 19.6
	紙・パ	6.6	▲ 0.5	▲17.0	▲ 0.5	▲ 3.4	▲ 16.0
	化学	▲ 1.5	▲ 4.5	▲ 1.1	3.7	▲ 0.9	0.9
	鉄鋼	▲ 5.2	▲16.8	▲ 7.9	0.4	▲ 7.0	5.4
	機械	4.1	▲ 0.0	▲ 3.4	0.6	0.3	0.8
	その他	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 0.3

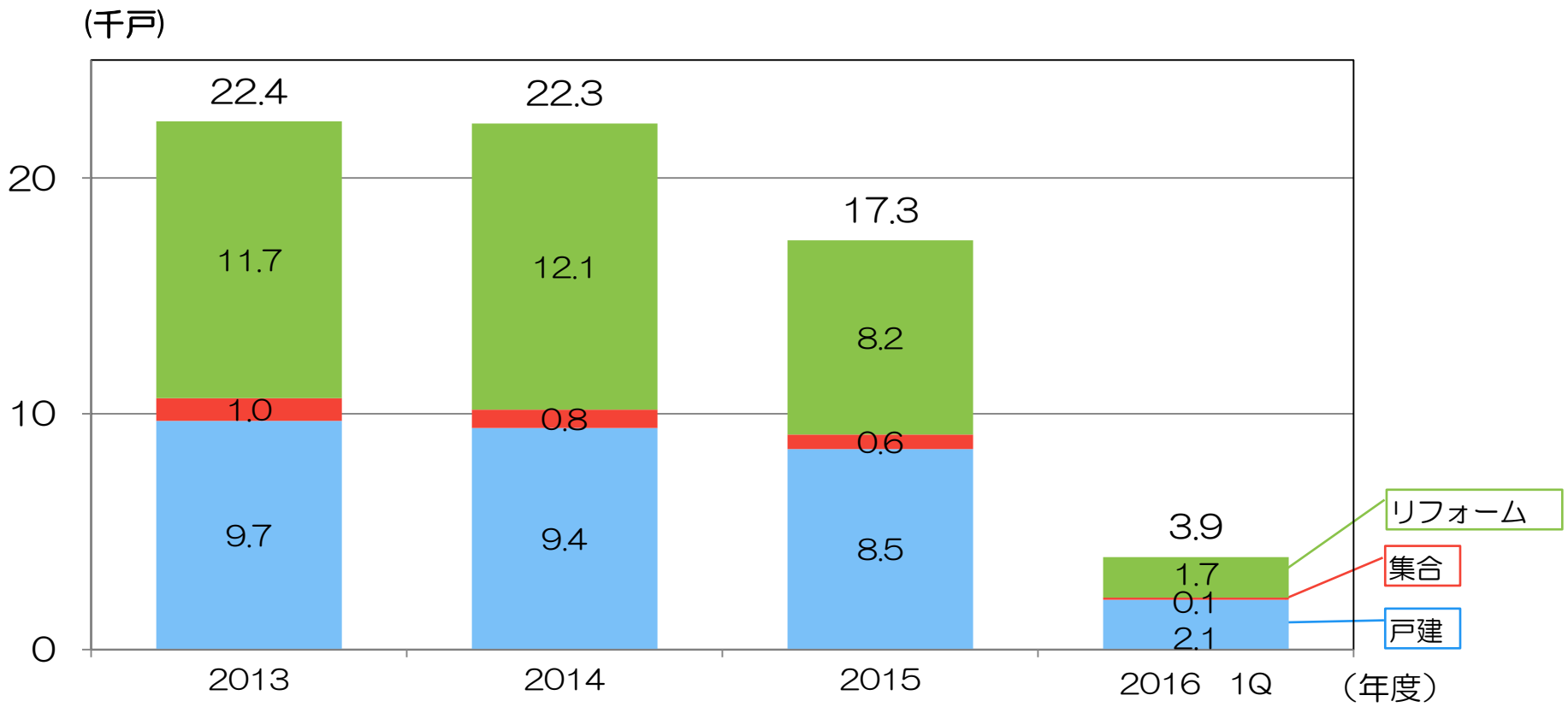
一部お客さまの生産ライン一部廃止に伴う減など

一部お客さまの生産調整に伴う減など

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

電化住宅採用戸数の推移

電化住宅採用戸数



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

化石燃料の消費実績

化石燃料消費実績

	2016年度 第1四半期 (A)	2015年度 第1四半期 (B)	前年差 (A-B)	(参考) 2015年度実績
石　炭（万t）	56.2	31.8	24.4	280.5
重　油（万kl）	16.2	28.9	▲12.7	67.0
原　油（万kl）	6.3	3.5	2.8	14.2
ＬＮＧ（万t）	7.3	8.6	▲ 1.3	30.4

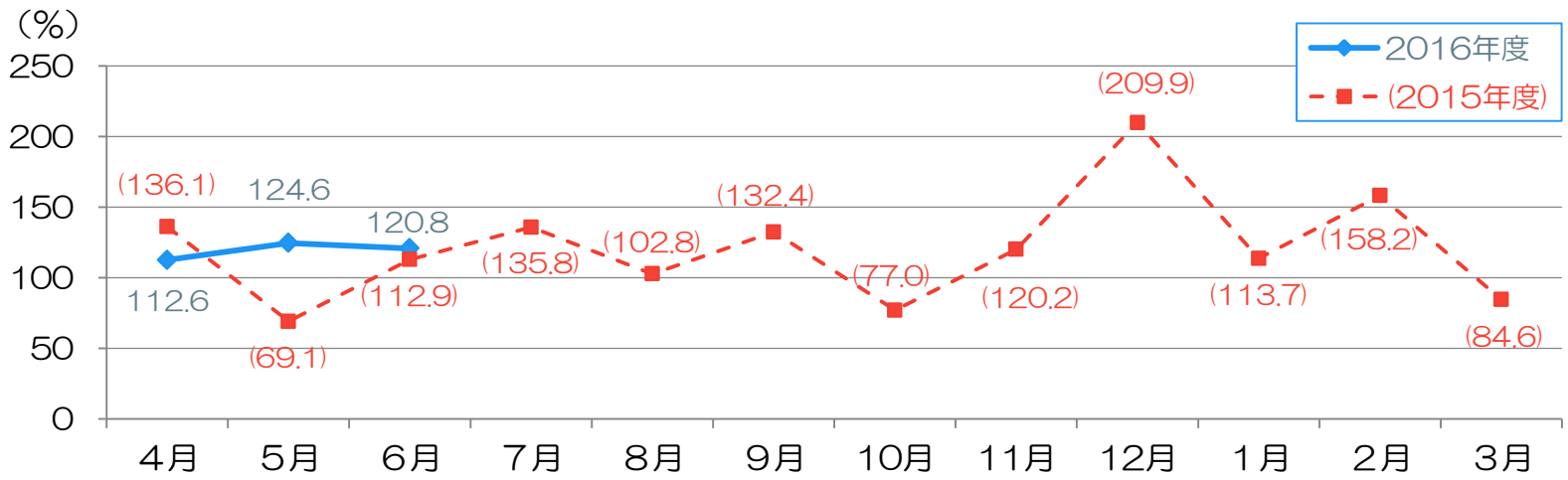
燃料諸元

	2016年度 第1四半期 (A)	2015年度 第1四半期 (B)	前年差 (A-B)	(参考) 2015年度実績
石炭通関CIF（$/ｔ）	69	82	▲ 13	75
原油通関CIF（$/ｂ）	41	60	▲ 19	49
LNG通関CIF（$/ｔ）	312	480	▲168	452
為替レート（円/$）	108	121	▲ 13	120

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

出水率、主要諸元の需給関連費への影響額等

出水率の推移



主要諸元の需給関連費への影響額等

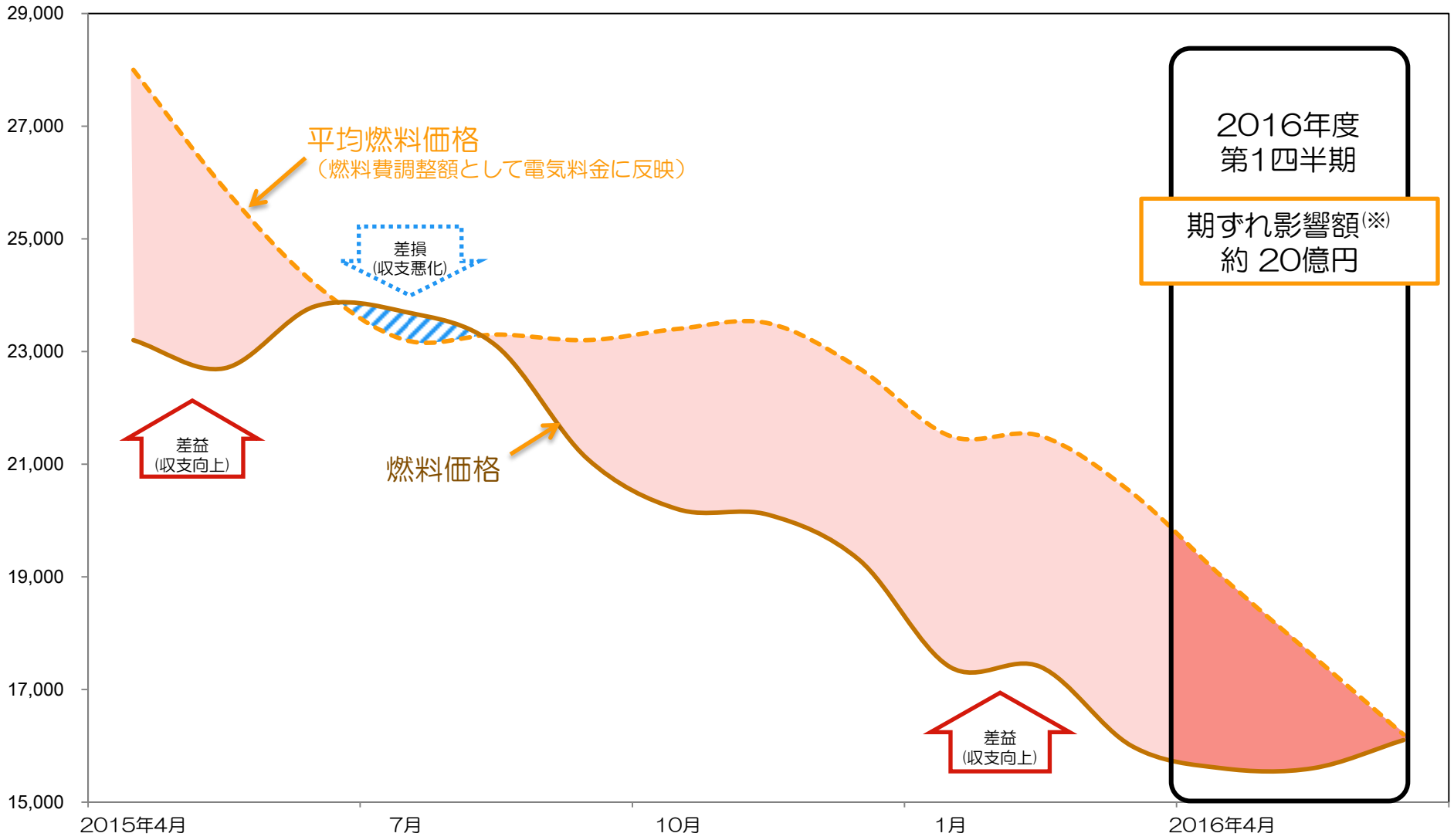
（億円）

	2016年度 第1四半期
原油CIF(1$/b)	2
石炭CIF(1$/t)	1
為替レート(1円/$)	2
原子力利用率(1%)	1
出水率(1%)	1

※左記影響額等は、一定の前提に基づいて算定した理論値であり、実際の影響は需給状況等によって変動することがある。
※原子力利用率は、伊方2・3号機のみの値。

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

燃料費調整制度による期ずれ影響



(※)　燃調期ずれ影響額は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額の差額。

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

設備投資額（連結）

（億円）

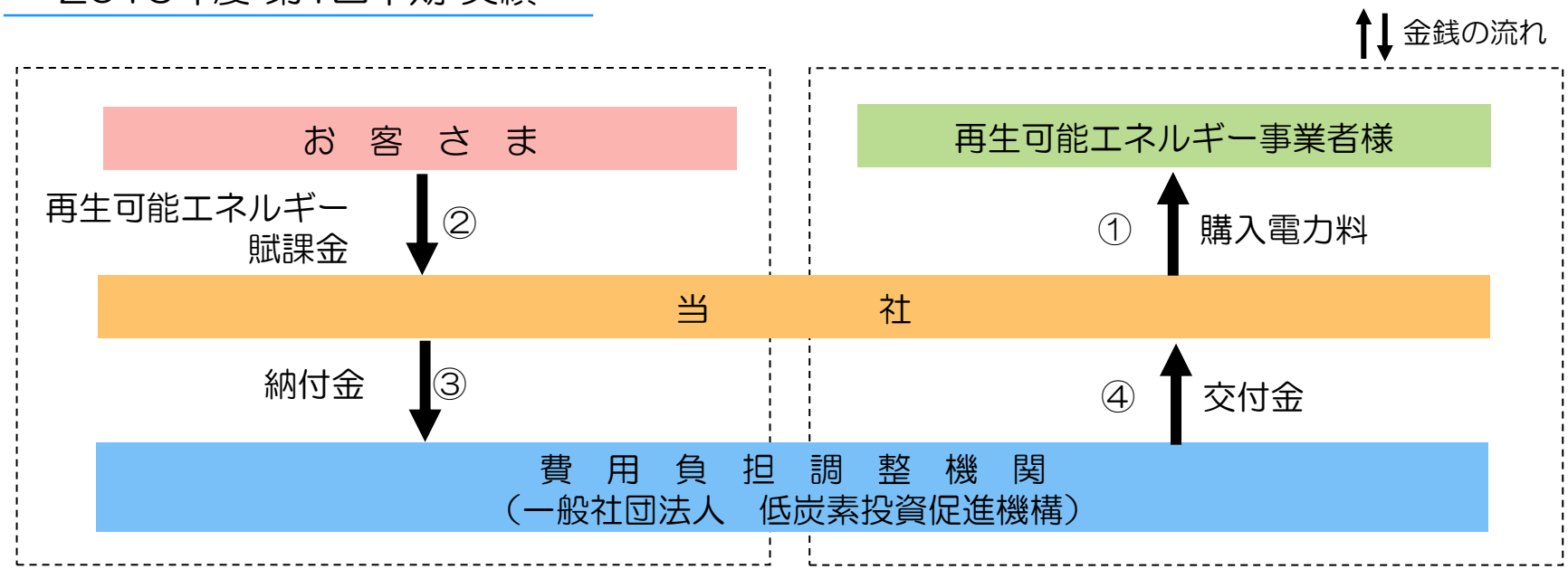
	2016年度 第1四半期	（参考） 2015年度
電源	80	549
水力	6	39
火力	45	122
原子力	27	387
送電	10	45
変電	17	56
配電	25	96
その他	9	29
小計	143	777
原子燃料	6	35
電気事業計	150	812
その他の事業	12	104
設備投資額※	162	917

※未実現利益消去前

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

再生可能エネルギーの固定価格買取制度

2016年度 第1四半期 実績

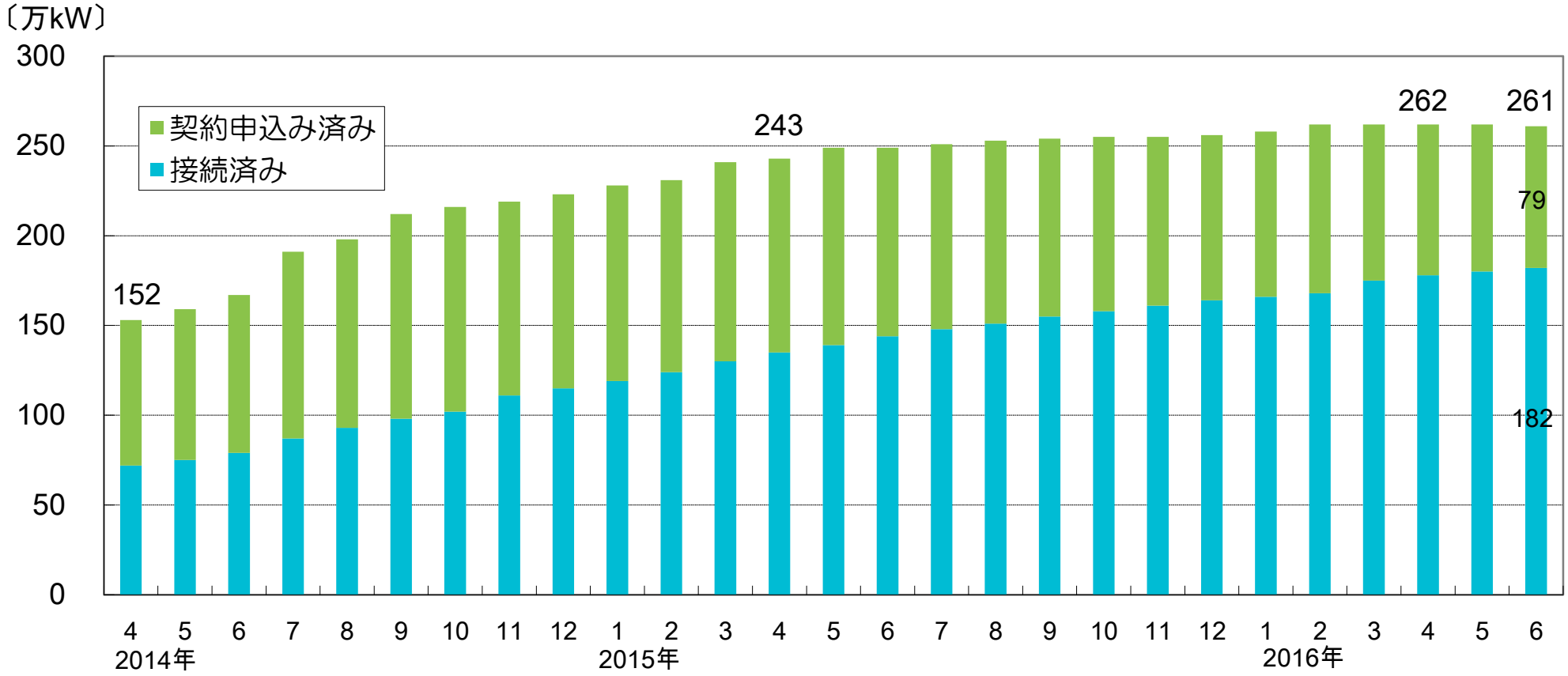


単位：億円

② 再生可能エネルギー賦課金　105 当社が、お客さまから電気料金の一部として回収	① 購入電力料　251 当社は、再生可能エネルギー事業者様に購入電力料をお支払い
③ 納付金　105 費用負担調整機関は、当社から納付金を徴収	④ 交付金　217 費用負担調整機関は、当社が買取に要した費用（電気価値分等を控除）を当社に交付

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

（参考）太陽光発電設備の接続済みおよび契約申込み済みの状況



※2014年7月以降の実績には、当社より融通送電を行っている関西電力管内の淡路島南部において、
接続済みおよび契約申込み済みの太陽光発電設備（2016年6月末時点で約17万ｋW）を含みます。

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

参考情報

- 自社発電設備
- 伊方発電所３号機の新規制基準への適合性に係る審査等の進捗状況
- 伊方発電所３号機の使用前検査の進捗状況
- 伊方発電所の中長期的な安全対策
  ［特定重大事故等対処施設・非常用ガスタービン発電機］
- 伊方発電所安全対策費の見通し
- 伊方発電所1号機の廃止
- 火力発電所のリプレース
- 石炭調達新会社の設立
- 環境規制の強化への対応
- 市場戦略の方向性
- 新料金メニューの導入　［四国域内・四国域外(首都圏および関西圏)］
- 会員制Webサービス「よんでんコンシェルジュ」の内容拡充
- スマートメーターの導入計画
- 海外事業への取り組みスタンス
- 株主還元
- 財務実績［財務状況・キャッシュ･フロー・設備投資］

自社発電設備

2016年7月28日現在

出力合計
6,051 千kW

水力
1,146 千kW

発電方式	出力(千kW)
自流式	305
貯水式	155
揚水式	686

原子力
1,456 千kW

発電所名	出力(千kW)	運転開始時期	運転年数	
伊方 1号	(566)	1977年9月	(38)	（2016年5月10日廃止）
2号	566	1982年3月	34	
3号	890	1994年12月	21	

火力
3,447 千kW

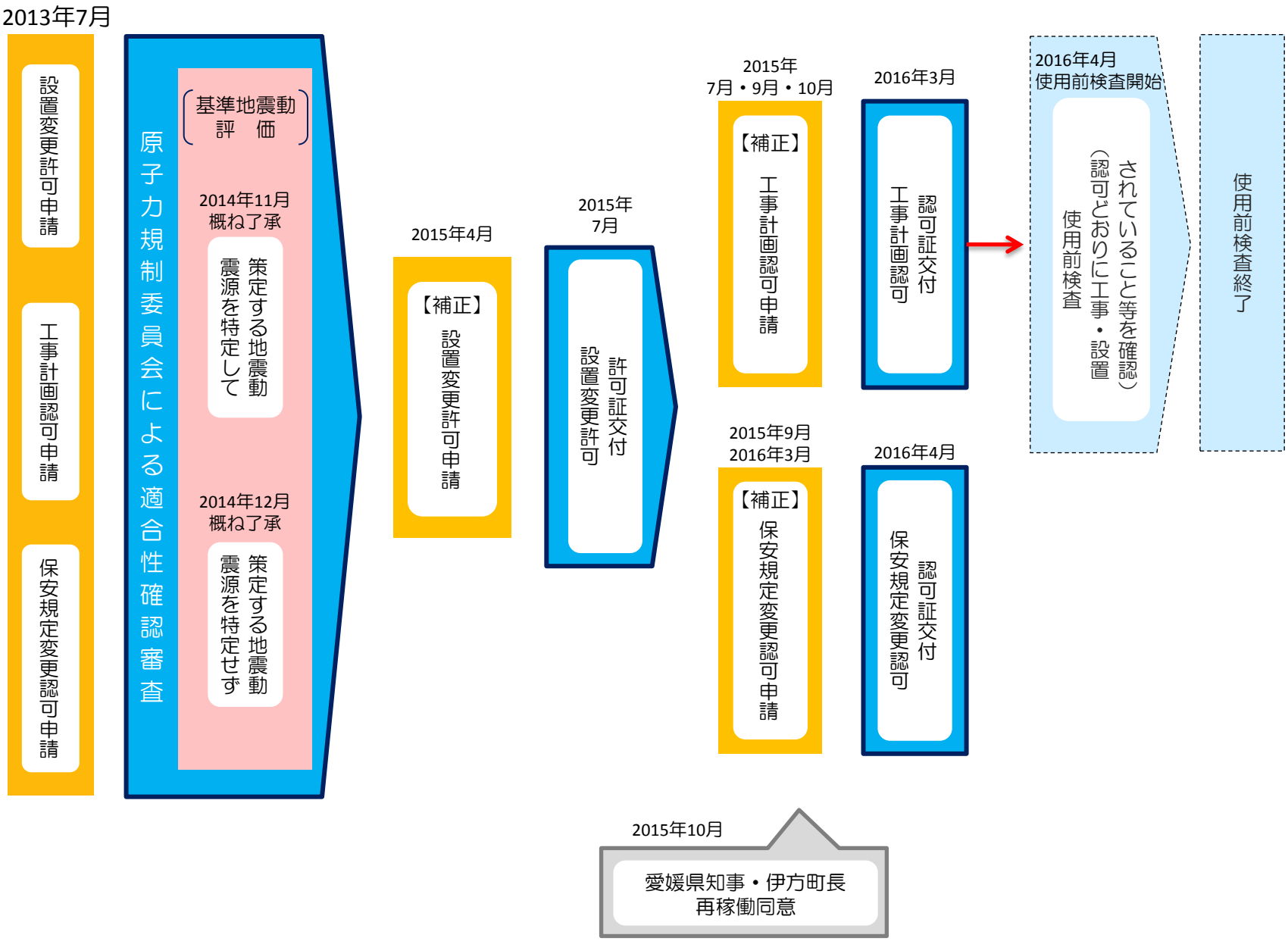
発電所名	出力(千kW)	運転開始時期	運転年数	燃　料
阿南 1号	125	1963年7月	52	重油
2号	220	1969年1月	47	重油・原油
3号	450	1975年8月	40	重油・原油
4号	450	1976年12月	39	重油・原油
橘湾	700	2000年6月	16	石炭
西条 1号	156	1965年11月	50	石炭・木質ﾊﾞｲｵﾏｽ・重油
2号	250	1970年6月	46	石炭・木質ﾊﾞｲｵﾏｽ・重油
坂出 1号	296	2010年8月	5	LNG
2号	(289)	2016年8月(予定)	ﾘﾌﾟﾚｰｽ中	重油からLNGへ転換予定
3号	450	1973年4月	43	重油・原油・COG
4号	350	1974年5月	42	LNG・COG

新エネルギー
2 千kW

発電所名	出力(千kW)	運転開始時期	運転年数
松山太陽光	2	2003年3月	13

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

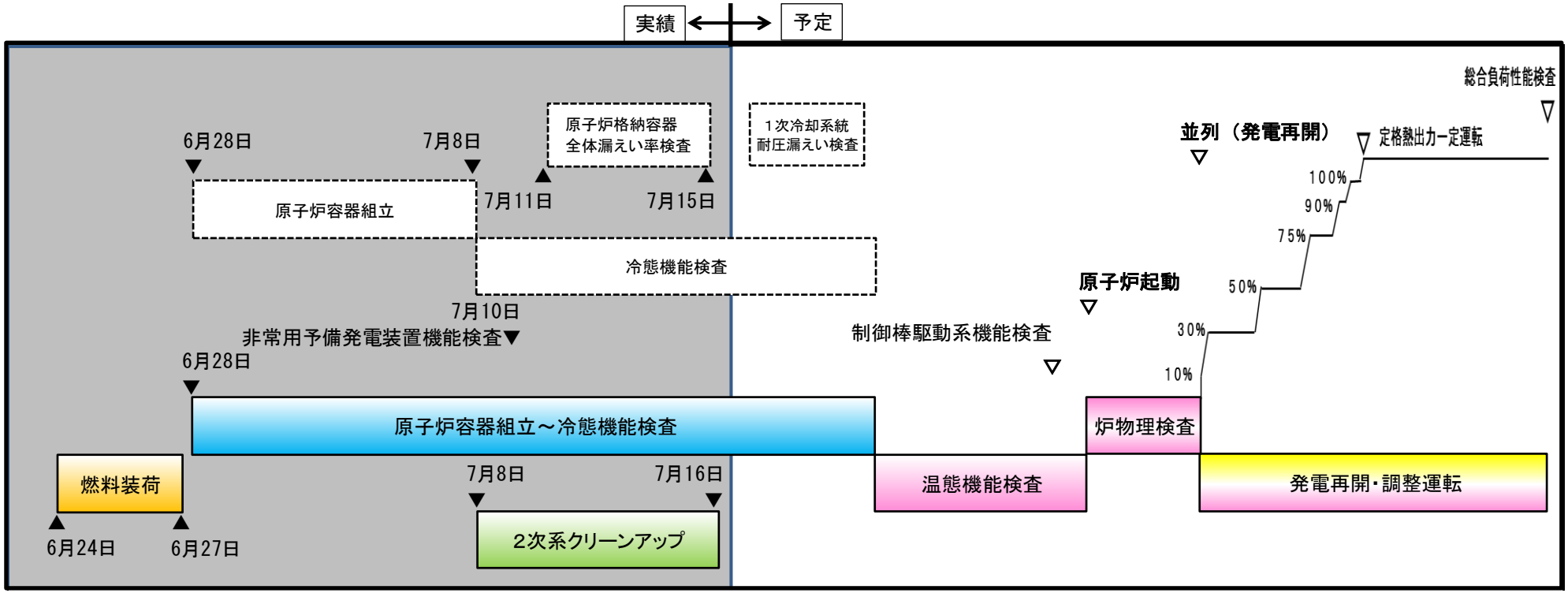
伊方発電所３号機の新規制基準への適合性に係る審査等の進捗状況



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

伊方発電所3号機の使用前検査の進捗状況

2016年7月22日現在

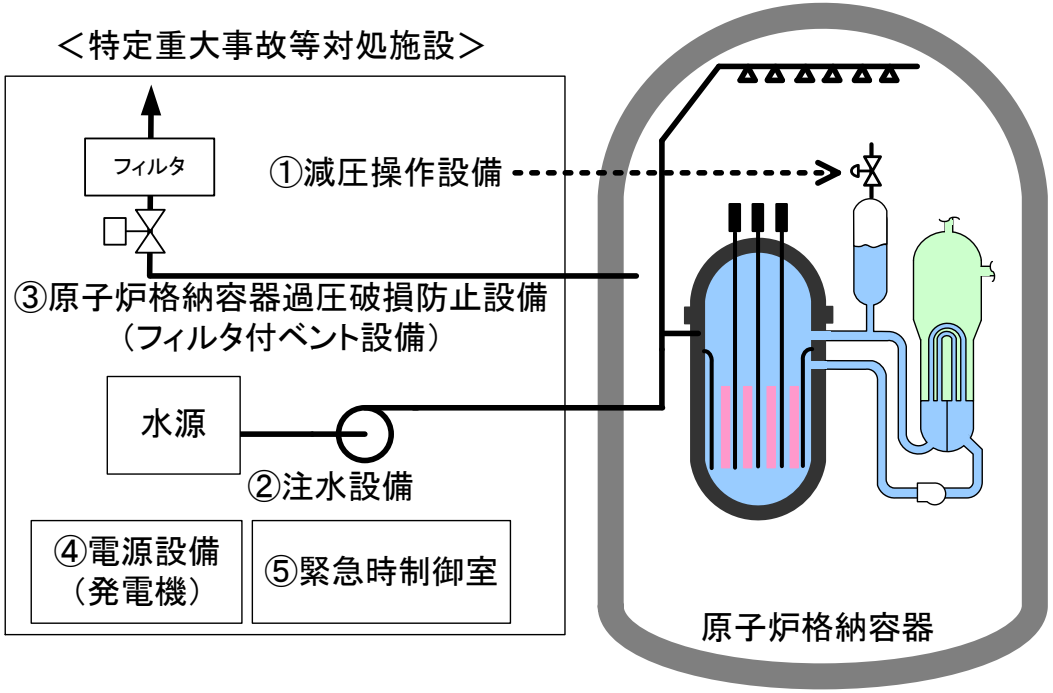


All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

伊方発電所の中長期的な安全対策（特定重大事故等対処施設）

◇特定重大事故等対処施設の概要

- 新規制基準において設置が要求されている設備。
- 原子炉建屋等への故意による大型航空機の衝突やその他のテロリズムにより、原子炉を冷却する機能が喪失し炉心が著しく損傷する恐れがある場合または炉心が損傷した場合に備えて、原子炉格納容器の破損を防止するための機能を有する。
- 既設安全対策設備をバックアップ。
- 2016年1月　原子炉設置変更許可申請。
- 2019年度　完成予定。



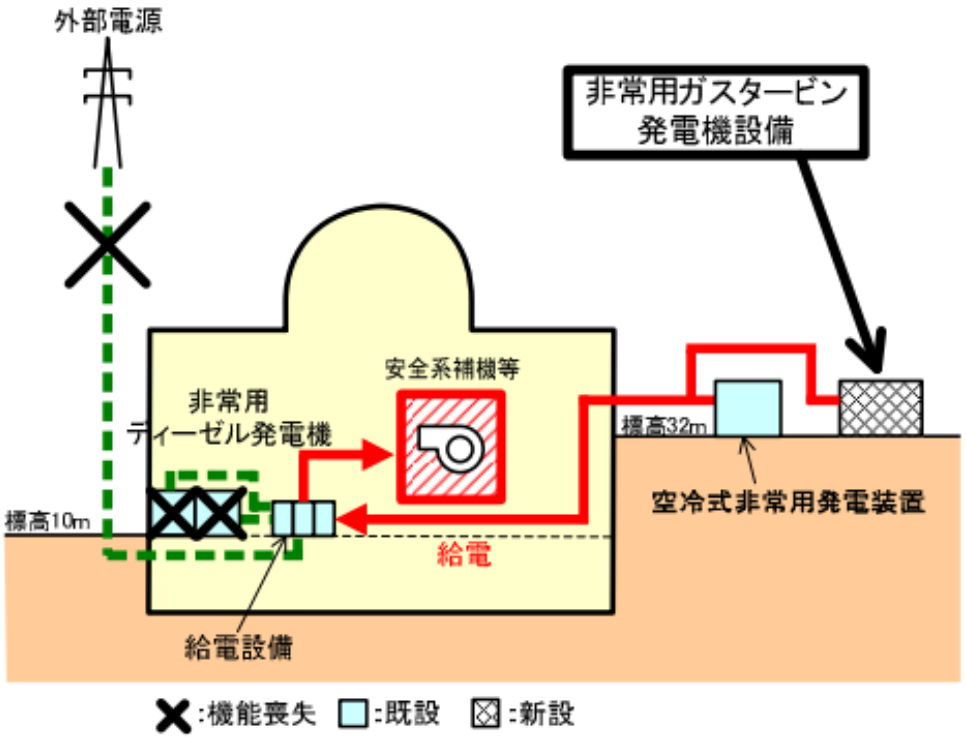
①減圧操作設備
既設の逃がし弁を動作させ、原子炉内の圧力を低下させる設備。
②注水設備
特定重大事故等対処施設の水源から原子炉容器や原子炉格納容器へ注水する設備。
③原子炉格納容器過圧破損防止設備
（フィルタ付ベント設備）
原子炉格納容器内の空気を放出し圧力を低下させる設備。
放出の際は、フィルタを通すことで、放射性物質の放出量を低減。
④電源設備（発電機）
注水設備等に電気を供給する設備。
⑤緊急時制御室
プラントの状態を監視するとともに注水設備等を操作する制御室。

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

伊方発電所の中長期的な安全対策（非常用ガスタービン発電機）

◇非常用ガスタービン発電機の概要

- 非常用電源設備の更なる信頼性向上対策として、新規制基準に適合するよう耐震等の基準を設計に反映し、重大事故等対処施設の非常用電源設備として設置。
  ※　新規制基準において要求されている重大事故等対処施設の非常用電源設備については、空冷式非常用発電装置（ディーゼル発電機）を設置することで、2015年７月に、原子炉設置変更許可を取得しており、本設備はさらなる信頼性向上のために追加設置するもの。
- 2016年1月　原子炉設置変更許可申請。
- 2017年度　完成予定。



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

伊方発電所安全対策費の見通し

（単位：億円）

		総額（見通し）	2011～2015年度 実績	（再掲）2015年度	2016年度 1Q 実績
設備対応	短期対策	約　750	666	299	16
	中長期対策	約　700	211	91	11
解析・評価など		約　250	225	126	7
合計		約 1,700	1,103	516	34
	設備投資	約 1,400	806	366	24
	費　用	約　300	296	150	10

（注）安全対策費総額は現時点の見通しであり、今後の状況次第で変動する可能性があります。

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

伊方発電所１号機の廃止

- 2017年９月に営業運転開始から40年を迎えるにあたり、新規制基準への適合や４０年超運転に向けて必要となる具体的対策等について検討を実施。
- その結果、供給力確保の観点、各種安全対策工事の技術的成立性やそのために必要となる工事費用、運転可能期間などを総合的に勘案し、2016年5月10日に廃止。

◇伊方発電所１号機の概要

［設備概要］

設置場所	愛媛県西宇和郡伊方町
炉　　型	加圧水型軽水炉
出　　力	56.6万kW
燃料集合体数	121体

［発電実績］

総発電電力量	1,326億kWh
設備利用率	77.5%※

※2011年度末までの累計

［主な経緯］

1972年 5月 8日	原子炉設置許可申請
1972年11月29日	原子炉設置許可
1973年 6月15日	建設工事開始
1977年 9月30日	営業運転開始
1983年12月31日	暦年(1983年)設備利用率世界最高を記録（99.3%）
1987年12月31日	暦年(1987年)設備利用率世界最高を記録（99.92%）
1990年12月14日	通算発電電力量500億kWhを達成（営業運転開始後）
2003年 8月15日	通算発電電力量1,000億kWhを達成（営業運転開始後）
2007年 9月30日	営業運転開始30周年
2011年 9月 4日	第28回定期検査により停止

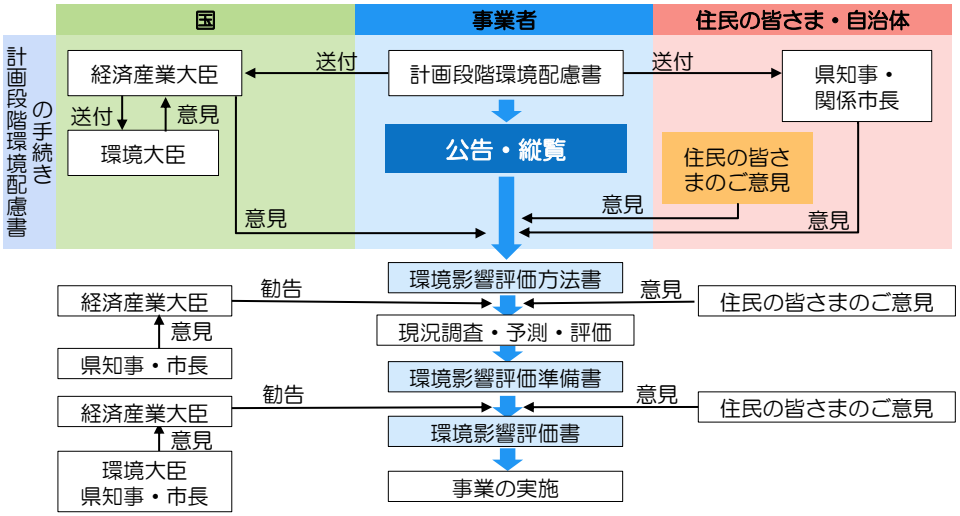
All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

火力発電所のリプレース

◇西条発電所１号機リプレース計画

- 高効率な超々臨界圧機（ＵＳＣ）へのリプレース。
- 火力電源入札を実施し、2016年3月に当社の落札が決定。現在、環境影響評価を実施中。

［環境影響評価の手続きおよび工事工程（予定）］



［計画概要］

	現行１号機	新１号機
運　転　開　始	1965年	2023年３月（予定）
定　格　出　力	15.6万kW	50万kW
熱　効　率　※	約 39%（約 38%）	45% 以上（43% 以上）
燃　料　種　別	石　炭	

着工後の年数	1年目	2年目	3年目	4年目
着工後の月数	12	24	36	48
全　体　行　程	着工			運開
土木建築工事	約37ヶ月			
機器据付工事		約23ヶ月		
試　運　転			約15ヶ月	

◇坂出発電所2号機リプレース計画

- 石油火力から高効率なLNGコンバインドサイクル発電設備へのリプレース。

［計画概要］

	新２号機
運　転　開　始	2016年8月（予定）
定　格　出　力	28.9万kW
発　電　方　式	コンバインドサイクル発電
熱　効　率　※	約 58%（約 53%）

坂出発電所新２号機　外観

※ 熱効率欄左側は低位熱効率、右側（　）内は高位熱効率を示す。
［低位熱効率は、燃料の発熱量（高位発熱量）から水分の蒸発量を予め差し引いた発熱量（低位発熱量）を基準に算定。このため、高位熱効率は、低位熱効率と比べて水分の蒸発熱量の分低くなる。］

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

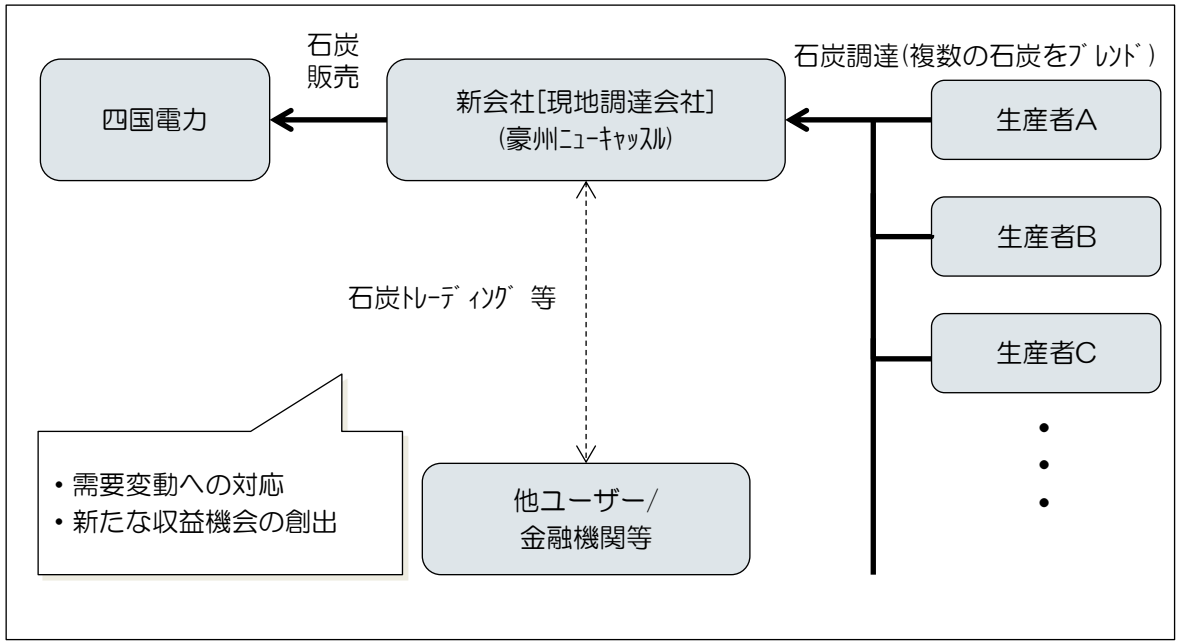
石炭調達新会社の設立

◇石炭調達における新スキームの導入

【ねらい】
海外における現地調達会社の設立

➡
- 生産者から直接買い付け。
- 高品位な石炭と割安で低品位な石炭を当社発電所に適合する品質となるよう自らブレンド。

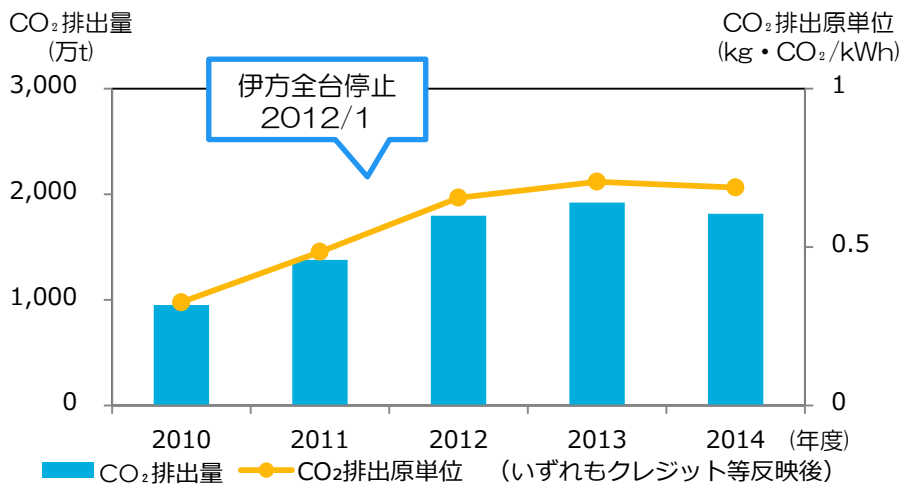
➡ 安価で品質の確かな発電用石炭の安定調達。



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

環境規制の強化への対応

現　状



	2010	2011	2012	2013	2014
販売電力量(億kWh)	291	284	274	272	264

将来的な方向性

「電気事業における低炭素社会実行計画」
（2015年7月17日公表）

- 2030年度に排出係数0.37kg-CO_2/kWh程度(使用端)を目指す。
- 火力発電所の新設等にあたり、経済的に利用可能な最良の技術(BAT)を活用すること等により、最大削減ポテンシャルとして約1,100万t-CO_2の排出削減を見込む。

出典：電気事業連合会、電源開発(株)、日本原子力発電(株)、特定規模電気事業者有志　公表資料

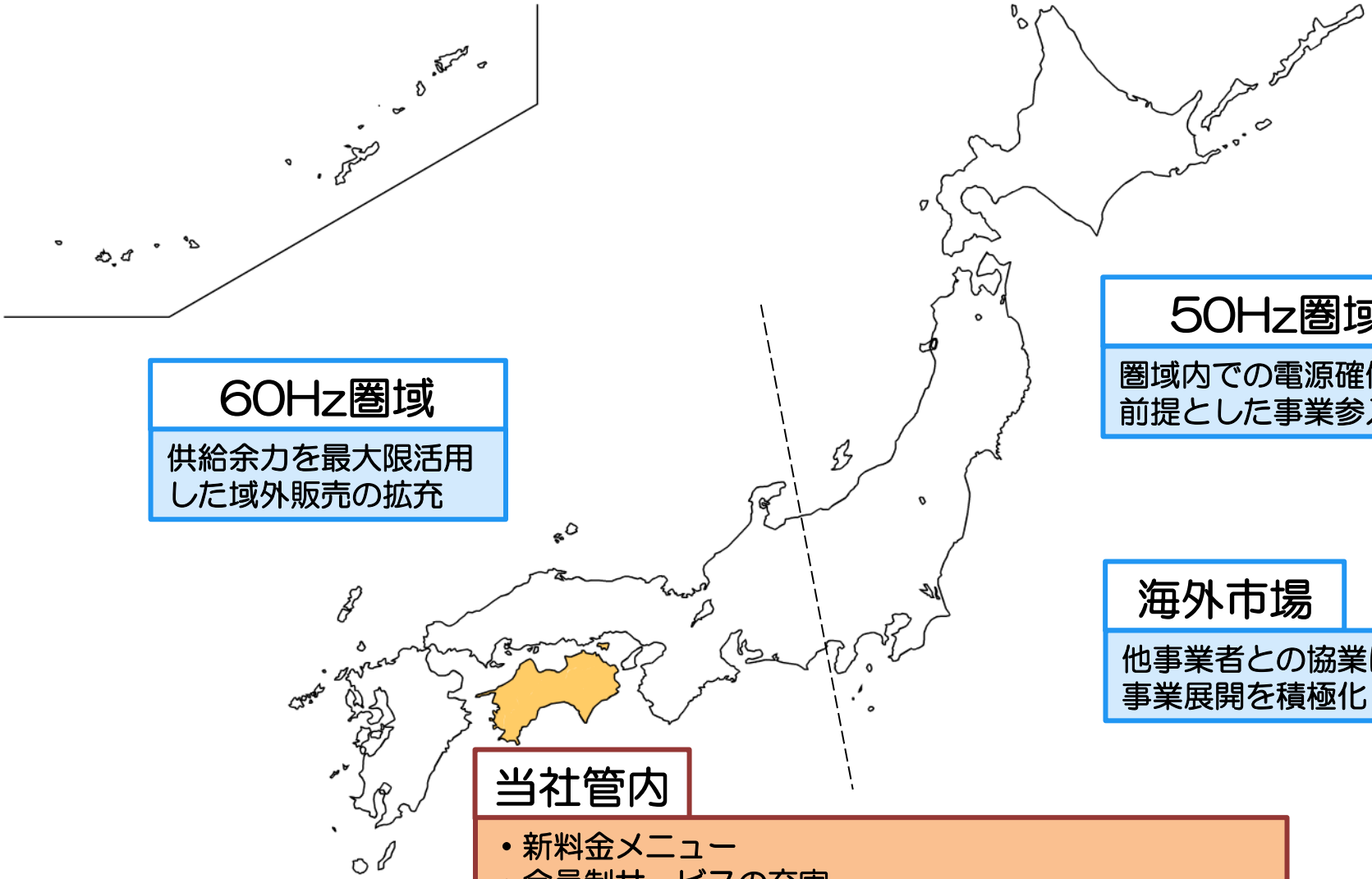
当社における取り組み

- 伊方発電所の再稼働と安全・安定的な稼働
- 経年化火力のリプレースによる高効率化
  → 坂出2号機(石油)のLNGコンバインドサイクル化
  → 西条1号機(石炭)の超々臨界圧機(USC)化
- 水力発電所の水車取替による効率向上
- 太陽光、風力など再生可能エネルギーの最大活用
- お客さまへの省エネ情報の提供や高効率電気機器の普及拡大　など

電気事業
低炭素社会
協議会
への参画

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

市場戦略の方向性



60Hz圏域

供給余力を最大限活用した域外販売の拡充

50Hz圏域

圏域内での電源確保を前提とした事業参入

海外市場

他事業者との協業により事業展開を積極化

当社管内

- 新料金メニュー
- 会員制サービスの充実
- 技術ソリューション活動の展開
- 他企業のサービスとのセット販売　など

による、既存のお客さまの繋ぎ止めと潜在需要の開拓

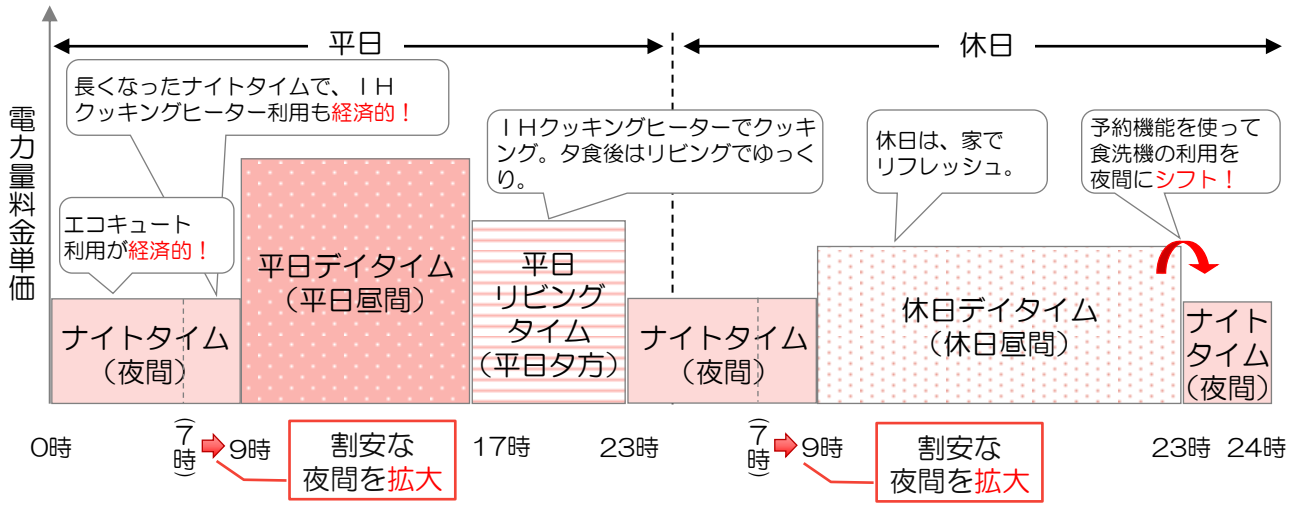
All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

新料金メニューの導入［四国域内］

◇ご家庭のお客さま向け料金メニューの例

スマートｅプラン［タイプＨ＋（プラス）］

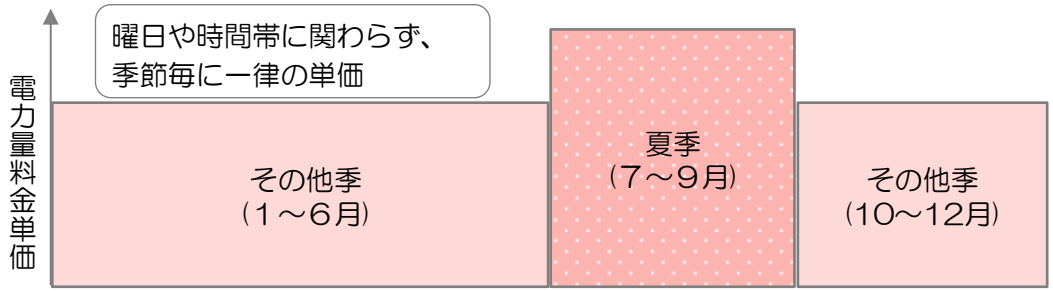
- 平日の昼間に比べて夜間の料金がぐっと割安
- 休日の昼間と平日の夕方の料金も割安
- 電化住宅にお住まいで、家で趣味を楽しんだり、ゆっくりくつろぎたいお客さまに「ぴったり」



◇事務所・商店等のお客さま向け料金メニュー

ビジネスｅプラン

- 夏季（７～９月）に比べ、その他の季節（10～６月）の料金が割安
- 事務所・商店などで、年間を通じて電気のご使用量の多いお客さまにおすすめ



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

新料金メニューの導入［四国域外(首都圏および関西圏)］

◇ご家庭のお客さま向け料金プラン

NEW!［2016年5月31日に発表］

毎月のご使用量が500kWhをこえるお客さまにオススメ！

Orange Plan

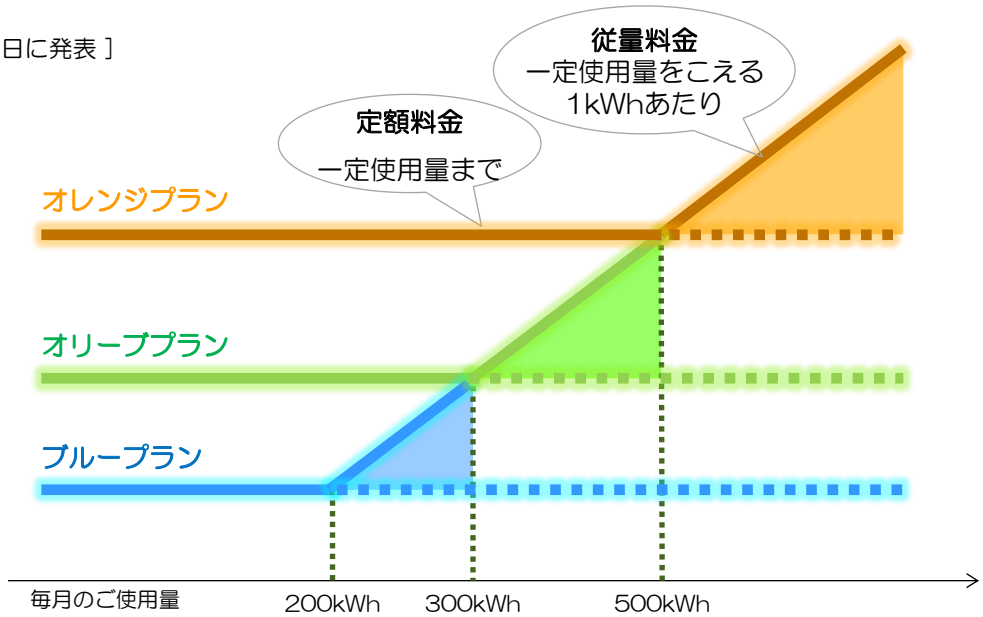
［2016年2月23日に発表］

Olive Plan

毎月のご使用量が300kWhをこえるお客さまにオススメ！

Blue Plan

毎月のご使用量が200kWhをこえるお客さまにオススメ！



◇事務所・商店等のお客さま向け料金プラン

Yellow Plan　イエロープラン　　首都圏で従量電灯C、関西圏で従量電灯Bをご契約のお客さまにオススメ！

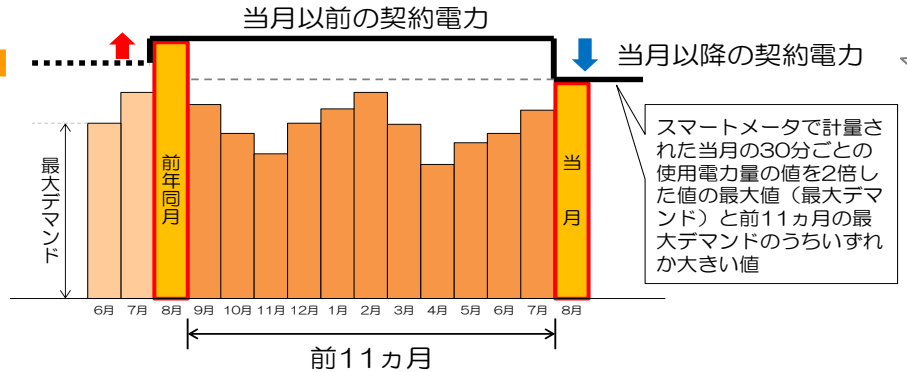
●契約電力の決定方法（イメージ）

料金は、基本料金と従量料金の合計※1。

基本料金
（契約電力×単価）

＋

従量料金
（電力量×単価）



スマートメータで計量された当月の30分ごとの使用電力量の値を2倍した値の最大値（最大デマンド）と前11ヵ月の最大デマンドのうちいずれか大きい値

契約電力は、直近1ヵ年間の最大デマンド※2に基づき決定。

※1：別途、燃料費調整額と再生可能エネルギー発電促進賦課金が加算されます。　※2：30分間に最も電気をご使用になった電力量

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

会員制Webサービス「よんでんコンシェルジュ」の内容拡充

よんでん
コンシェルジュ

“よんでんコンシェルジュ”

［２０１５年３月～］
◇ 電気料金・ご使用量実績照会サービス　◇ 光熱費最安値チェック　● 環境家計簿
◇ 最適料金メニューシミュレーション　● 省エネ効果シミュレーション

［２０１６年１月～］
● 「よんでんポイント」サービス
● コラム掲載

「よんでんコンシェルジュ」の個人会員さまを対象に、会員登録時や、電気ご使用量の確認など、コンテンツのご利用状況に応じてポイントをご提供

［２０１６年２月～］
● すごろく（四国を旅するオリジナルゲーム）

【年間獲得ポイント】
1,000ポイント程度
（１ポイント＝１円相当）
※電気料金への充当はできません。

［２０１６年４月～］
◇ 料金アラートサービス（※１）
◇ 簡易デマンド監視サービス（※２）
◇ ポイント交換サービス

四国特産品や商品券、他社ポイントなどに交換
→サービス提供開始後も順次拡大

【交換商品例】
・住友ＳＢＩ銀行（ポイントを換金）
・楽天銀行（ポイントを換金）
・Ｓｕｉｃａポイント
・Ｔポイント
・ＪＴＢトラベルポイント
・ｎａｎａｃｏポイント
・全国共通図書カード
など、ネットマイル取扱い商品と交換できます。

※１：スマートメーターによる自動検針が可能となったご家庭向け料金メニューが対象。
対象料金メニューは順次拡大予定。
※２：現在は、契約電力500ｋW以上の高圧お客さまが対象。
今後、対象を順次拡大予定。

◇：本会員様（当社とご家庭向けの電気の契約をしているお客さま）のみにご提供するサービス
●：本会員様およびライト会員様（当社とのご契約のないお客さま）ともにご提供するサービス

➢ 2016年度の目標： 会員純増件数10万件（累計15万件）

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

スマートメーターの導入計画

低圧用スマートメーター

◇スマートメーターの導入によって期待される効果

お客さまの利便性向上	・引越し時に電気の送電・停止や使用量の確認を迅速化 ・電力使用量の見える化により、きめ細やかな省エネやライフスタイルに合った料金メニューの選択が可能　など
業務効率化	・契約の開始・廃止を遠隔操作で対応可能 ・毎月の検針業務が軽減可能　など

◇スマートメーターの導入予定

特別高圧 高圧大口	高圧小口	低　圧
導入済	2016年度までに導入完了予定 進捗状況（2015年6月末現在） 導入済み　27千口 全契約　30千口	2023年度までに導入完了予定

			2015年度	2016	～	2023
先行導入（高松市の一部）	機器設置自動検針		確認・検証			
全地域	機器設置	県　庁所在地	法定取替などにあわせて設置			
		その他		法定取替などにあわせて設置		
	自動検針			自動検針を順次開始		

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

海外事業への取り組みスタンス

◇海外事業における10年後の利益目標と施策

海外事業における
10年後の利益目標
40億円／年
（持分容量 150万kW 程度）

- 検討対象の拡大
- パートナー戦略の強化

✓ 既存案件で実績のある中東地域/ガス火力にとどまらず、成長の見込める地域として東南アジアや米州、発電種別として再生可能エネルギーも検討の視野に入れ、持分容量を拡大。

✓ 既存パートナーとの関係強化はもとより、新たなパートナー関係構築のため、国内電気事業で培った運転・保守に関するノウハウ、コンサルティング活動（世界50ヵ国で実施）で得た現地政府機関や取引先とのネットワークなど、当社の強みを訴求。

◇既存参画案件の概要

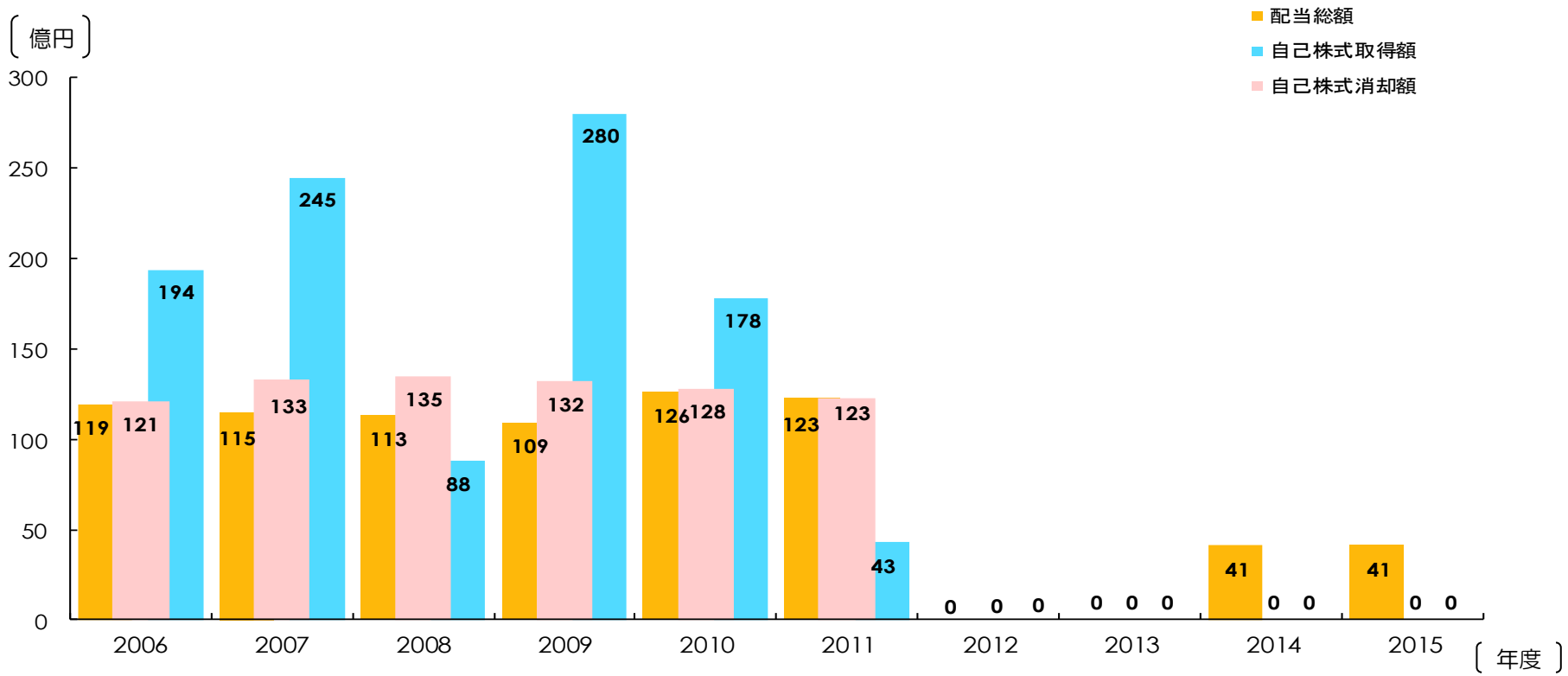
	カタール	オマーン	
プロジェクト名	ラスラファンC	バルカ３	ソハール２
事業内容	発電・造水プラントの建設・運営、電力・水の販売	発電プラントの建設・運営、電力の販売	
発電容量	273万kW（ガスタービン コンバインドサイクル発電）	各74.4万kW（同左）	
造水容量	29万トン/日	―	
当社出資比率	5%	7.15%	7.15%
総事業費	約 39億米ドル	合計 約17億米ドル	
事業期間	2011年4月(運開)～2036年3月（25年間）	2013年4月(運開)～2028年3月（15年間）	

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

株主還元

- 安定的な配当の実施が株主還元の基本。
- 業績水準や財務状況、中長期的な事業環境などを総合的に勘案して判断。

◇株式情報（連結）



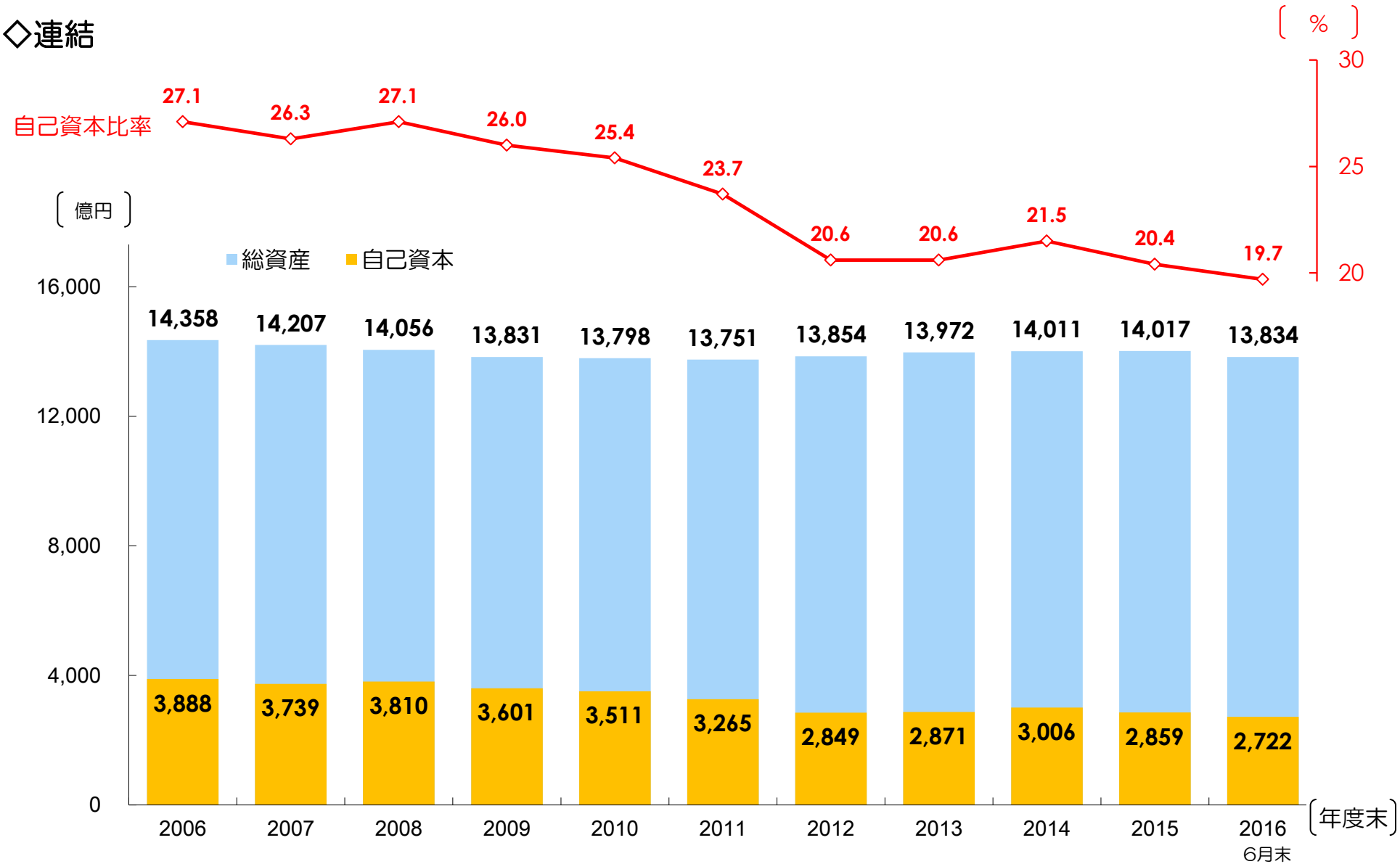
年　度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
1株当たり配当額(円)	50	50	50	50	60	60	0	0	20	20
連結配当性向(%)	42.8	44.1	39.2	50.1	53.9	-	-	-	39.9	36.9
配当利回り＊(%)	1.8	1.7	1.9	1.9	2.7	2.6	0.0	0.0	1.4	1.3

＊ 年度末株価にて算定

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

財務実績［財務状況］

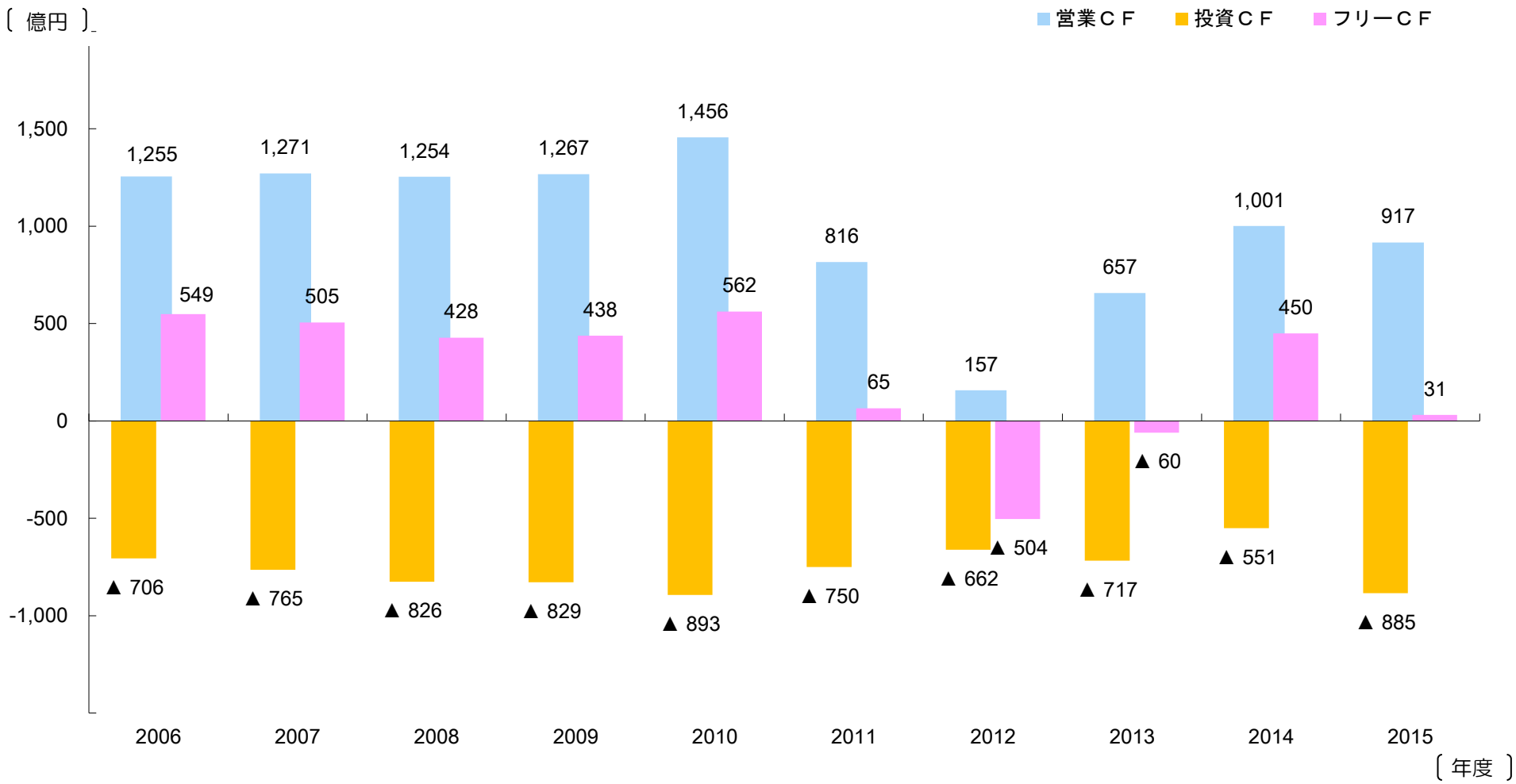
◇連結



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

財務実績［キャッシュ・フロー］

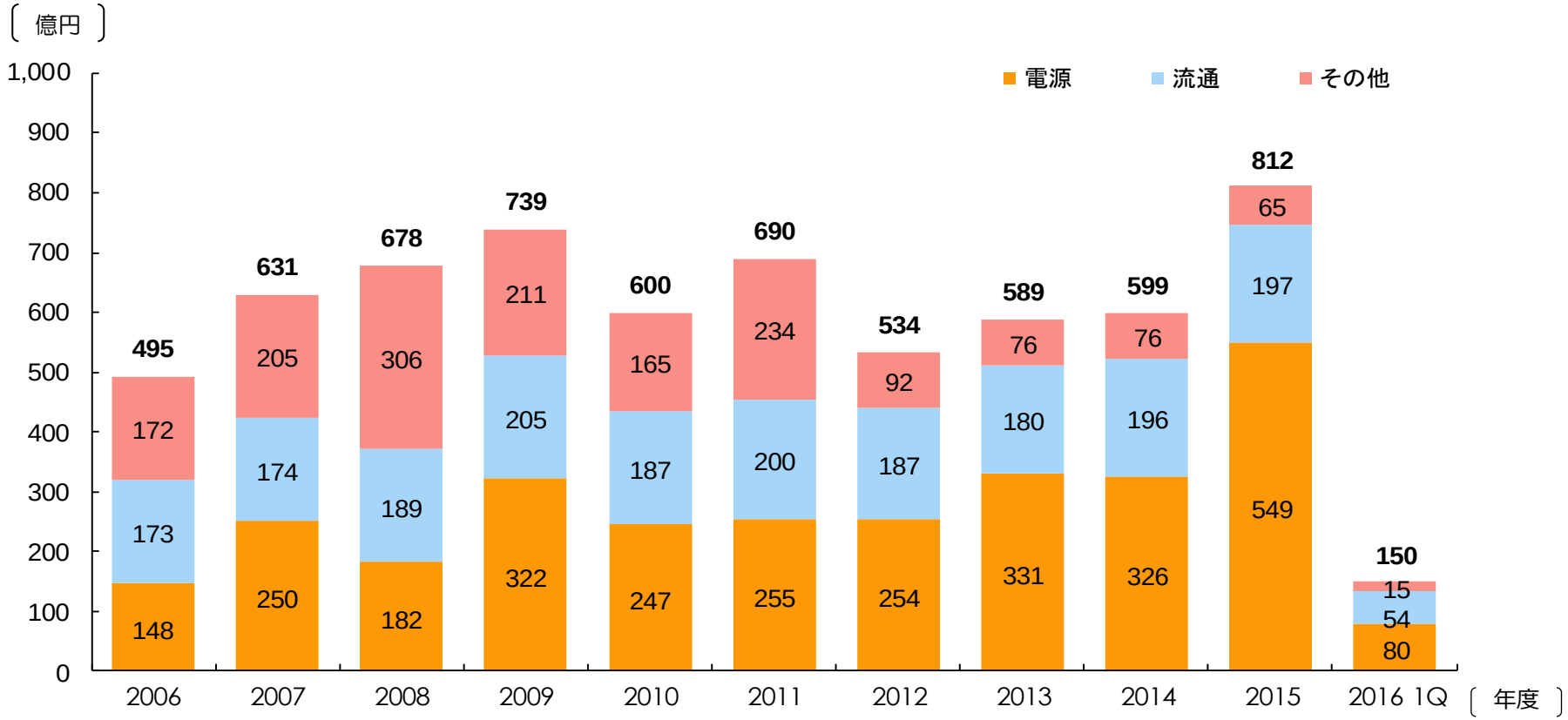
◇連結



All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

財務実績［設備投資］

◇単独



◇連結

〔 億円 〕

年　度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 1Q
	565	706	776	803	666	757	654	757	721	917	162
うち 電気事業	485	626	673	737	590	685	531	587	595	812	150
その他の事業	80	80	102	65	75	71	122	169	125	104	12

※セグメント間取引消去前

All Rights Reserved © 2016YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要因により、記載されている見通し等とは異なる場合がありうることをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済・社会情勢、エネルギー政策や電気事業制度、原子力規制の変更、競争の進展、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。

YONDEN
四国電力株式会社
http://www.yonden.co.jp/